

ゼミナールかわら版

第2回「働く人の健考学ゼミ」

令和5年12月14日開催分

発行：坂井健康福祉センター



うんうん!!

1. 所長あいさつ

7月の打ち合わせを合わせれば、実質3回目の勉強会です。

さて厚生労働省は、地域と職域の保健に関わる人たちの交流の場を設けるよう勧めています。これは地域と職域の保健師が、お互いの仕事内容が見えにくく、お互いに地域の政策や現状、そして職域の現状を知って欲しいから、と思います。現在、がん検診受診率の目標は60%ですが、50%以上にはなかなかいきません。この原因の一つに、職域の受診率の伸び悩みが考えられます。受診券やパンフレットを地域から個人に送っていますが、受診率向上には繋がっていません。

地域と職域の連携を深め、互いに勉強し健康づくりを推進するために、この意見交換会を、今年度から始めています。本日はデータヘルスの話もあります。取り入れたい課題なので勉強になると思っています。今年は最後となりますが、年度内にはもう一度、集まっていただき勉強会を開きたいと考えています。どうぞ引き続きお願いします。

2. 出席者名簿

(株)金津村田製作所 室谷さま・(株)UACJ福井製造所 齊藤さま
(株)日東シンコー 築紫さま・春江病院総合支援室 中嶋さま・吉田さま
宇野酸素三国営業所 六佐さま・(有)トットーザリハビリテーショングループ 木下さま
福井労働基準監督署 加藤さま・全国健康保険協会福井支部 小垣内さま・片岡さま
あわら市健康長寿課 金田さま・坂井市健康増進課 角正さま

3. 情報提供1＝福井労働基準監督署＝労働衛生について 過重労働とメンタルヘルス

令和5年11月末時点の労働災害の発生状況の速報値を見ると、最も多い原因がコロナで30%。次いで高齢者の転倒で、場合によっては数か月休まないと社会復帰できないケースもある。これから降雪など転倒リスクが増えるため注意喚起と、転びにくいカラダをつくる職場エクササイズも勧めている。

【過重労働】月45時間を超える残業をすると健康障害リスクが高まると言われている。36協定がなければ労働時間の延長認められないなど、労働時間については、労働基準法で定められている。一方、健康管理体制については労働安全法に準じて行われている。中でも、事業主が労働者の疲労蓄積を測る基準に困る事業者が多い。この場合、「労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト(2023年改訂版)」を利用するのも良い。

【メンタルヘルス】労働災害防止計画で、メンタルヘルス対策に取り組む事業所を80%以上としている。労働基準監督署の福井管内の状況を見ると、従業員50人以上の事業所ではストレスチェックの実施が義務であるが、忘れていたという事業所も結構あった。今後、50人未満の事業所も実施する方向。メンタルヘルス計画を作成し実施してほしい。

4. 事例紹介＝(株)UACJ福井製造所＝

健康経営宣言

UACJグループは社員が心身共に健康であることが継続的な事業の発展を支える基盤との認識に立ち、社員がいきいきと働き、活気ある会社として「軽やかな社会」の実現を目指しています。そのために会社と社員とその家族が一緒になって健康への意識を高め、未病にとどまらず活力ある毎日を送るための取り組みを進め、心身の健康の維持・増進を図っていきます。

これを基に戦略マップを作成、細かく項目を設定、活動計画に組み入れ、実施している。健康診断の他、従業員の健康意識向上のため、健康動画を食堂などで流している。長時間労働やメンタルヘルスに関しても、問診票を活用し、従業員自身の気づきを促す工夫もしている。

これらの活動は健康管理を行う部署が中心となって行っているが、従業員の数に対して少ない人員で実施せざるを得ない。だからこそ、地域の連携や多職種連携がとても大切となる。このような地域・職域連携の利用が大切でこの協力関係の中で行っている。

5. 情報提供2＝協会けんぽ福井支部＝

協会けんぽは240万の事業所が加入している日本最大の健康保険運営主体。約3人に一人は加入している。全国的に被保険者数が10人未満の小規模事業所が全体の8割を占める。福井県は被保険者数30～300人未満の事業所に勤務する者が全体の4割以上を占める。全国と比較して働き世代(30～59歳)の割合が低く19歳以下と60歳以上が全国と比較して構成割合が高い。業種別に見ると建設業卸売・小売業、製造業で約5割を占める。

医療費データを見ると、一人当たりの医療費が福井県では全国平均より高く反対に入院外や歯科に係る医療費については全国平均より低かった。医療費構成要素では、一人あたりの入院受診率が高く、1件あたりの入院日数が高い。以上のことから入院に係る医療費が医療費全体を押し上げていると考えられた。

協会けんぽのホームページには「統計情報」のページがあり、医療費分析の結果が見られるようになっているので、参考にして欲しい。

6. その他

- ・坂井市：「プラス・マイナスチャレンジ」のご紹介
- ・あわら市：令和6年1月25日と2月4日の特定健診のご案内
- ・坂井健康福祉C：芦原温泉旅館組合の出前婦人がん検診の日程

7. 意見交換

- ・UACJの取組みが素晴らしかった。事業所の大小に関わらずメンタルヘルスの問題は発生しており、大変勉強になった。
- ・動画配信で職員の記憶に刷り込んで行動変容の一助とする取組みに興味があった。

8. 次回の予定

R6年3月に実施予定。

事例紹介：春江病院の取り組み他
併せて地域・職域連携推進協議会開催予定

編集後記

今回は内容がてんこ盛りで、時間が押してしまいましたが、皆さまに意見交換もしていただき、大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
知りたい情報など、ご意見もいただけると参考になります。よろしくお願いします。

